

科目名

文学部の基礎

科目の概要

学びのパスポートプログラムの学生が文学部 13 専攻の学びがそれぞれどのようなものかを知ることと、それ以外の学生が自分の所属する専攻分野に留まらない幅広い学問的視野を持つことを目的として開講される授業です。年度毎の共通テーマの下、各専攻の教員が 1 回ずつ、コーディネーターの教員とともにオムニバス授業を行います。共通テーマに関して多様な角度から学ぶことで、文学部の学問的な方法に対する理解を深めることが期待されます。2025 年度のテーマは「ナショナリズム・宗教」です。

授業内容の事例

【2025 年度「ナショナリズム・宗教」授業内容】

第 1 回 イントロダクション(コーディネーター)

第 2 回 「十五年戦争と文学」(国文学専攻)

第 3 回 「弱き者、汝の名は女？—ミルトン『失樂園』の場合」(英語文学文化専攻)

第 4 回 「ナショナリズムと宗教—19 世紀のドイツとフランスにおける政教分離問題」(ドイツ語文学文化専攻)

第 5 回 「フランスにおけるナショナリズムと宗教」(フランス語文学文化専攻)

第 6 回 「古い時代の中国における俗信のことなど」(中国言語文化専攻)

第 7 回 「先史時代の宗教観—縄紋から弥生への儀礼の変化を探る」(日本史学専攻)

第 8 回 「「アラブの春」にみるイスラームとナショナリズムの葛藤」(東洋史学専攻)

第 9 回 「黙示録と最後の審判—西洋史のなかの終末観」(西洋史学専攻)

第 10 回 「宗教と科学の意外な関係—自然神学から眺めてみると—」(哲学専攻)

第 11 回 「境界の越え方」(社会学専攻)

第 12 回 「ナショナリズムの社会心理学」(社会情報学専攻)

第 13 回 「ポスト世俗化社会における宗教教育」(教育学専攻)

第 14 回 「心理学史におけるナショナリズム」(心理学専攻)

学生へのメッセージ

担当するコーディネーターが受講してもとても興味深い授業です。ただし、この授業はただ教員の講義を聞くだけでなく、みなさんの積極的な参加が求められます。一緒に授業を盛り上げましょう。

